

# RIS411エース

不陸調整・表面被覆材（コテ塗り用ポリマーセメントモルタル）

## ポリマープレミックスタイプ

### 1 はじめに

「RIS411エース」は、特殊セメントにポリアクリル酸エステル（PAE）系粉末ポリマーを組合わせた補修及び新規工事用のコテ塗り用ポリマーセメントモルタル材料です。

作業性に優れたポリマープレミックスタイプで、優れた強度発現性を持ち、耐ひび割れ性にも優れます。RIS411エースは、使用時に水のみを加えて練り混ぜるだけでコテ塗りによる施工を容易に行うことができ、圧縮強度、付着性及び耐久性に優れた不陸調整及び表面被覆用の薄塗りモルタルです。

### 2 特長

- 当社独自の特殊混和材技術を応用したポリマープレミックス型ポリマーセメントモルタルです。
- 所定量の水のみを加えて練り混ぜるだけで、薄塗りモルタルが得られます。
- 高強度性、付着性に優れ、ひび割れに対する抵抗性にも優れています。

### 3 用途

- コンクリート構造物の不陸調整・表面被覆
- コンクリート構造物の断面修復工事における不陸調整・表面被覆
- プレストレストコンクリート（PC）部材の端部処理

### 4 荷姿

15kg（紙袋）

### 5 配合

標準配合

	RIS411エース	水
1袋あたり	15kg	3.75kg
1m <sup>3</sup> あたり	1530kg	382kg

### 6 使用量

施工塗り厚2mmで、1m<sup>2</sup>当りRIS411エースを3.1kg使用する。

## 7 物性値 (例)

項目	単位	樹齡	測定値	測定方法
モルタルフロー	—	直後	188	JIS A 1171
凝結時間	分	始発 終結	150 310	JIS A 1147
圧縮強度	N/mm <sup>2</sup>	7日 28日	25 35	JIS A 1171
曲げ強度	N/mm <sup>2</sup>	7日 28日	5.5 7.5	JIS A 1171
付着強度	N/mm <sup>2</sup>	7日 28日	1.5 1.8	JIS A 1171

【環境条件 20±2℃での測定例】

## 8 施工手順

- 1) 施工面の下地処理：施工面の埃や汚れを除去してください。油等は洗剤で洗い流してください。
- 2) プライマー塗布：施工面は適度の湿潤状態としてください。乾燥している場合はプライマー塗布を行ってください。(EVA系ポリマー「RIS211E」をご用意しています。)
- 3) 塗りつけ：RIS411エースを所定配合でハンドミキサ等を用いて練り混ぜてください。ハンドミキサはアルミ製の羽根のモノを使用しないで下さい。練り上がったモルタルは金コテで下こすりをしながらコテむらのないよう平滑に塗りつけてください。練り混ぜたモルタルは1時間以内に使用してください。塗り付け厚みは1~3mm程度としてください。作業要領及び使用器具等は一般のコテ塗り用モルタルと同じです。
- 4) 養生：施工後は適切な養生を行ってください。RIS411エースの施工後、施工面に日光や風が直接あたる場合には、シート掛けをする等、特に養生に留意してください。

## 9 使用上の注意

- RIS411エースに他のセメント、砂、混和材(剤)等を加えないで下さい。
- 可使時間は温度、湿度等の環境条件により変化します。使用前に試し練りで可使時間を確認してください。
- 乾燥した冷暗所で保管してください。

# Denka



**警告**



●水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。●目に入れないこと。入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。●皮膚に付けないこと。●鼻や口に入れないこと。●保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用すること。●子供に触れさせないこと。

### データ等記載内容についてのご注意

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性については、貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。  
これらの資料は、当社の担当部門にご用意してありますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。